令和6年度 第2回関西広域防災計画策定委員会（書面開催） 委員のご意見等に対する対応

No.	ページ数	ご意見・ご提案	対 応
1	全体	<p>特に該当するページというわけではなく、今回の取りまとめで記載できなくても仕方ないとは思いますが、広域での行政事務のリモート支援・ワークシェアリングについて、どこかに項目の追加および記載していただければ幸いです。</p> <p>前回会議でご報告いただいたように、リモート支援ができた業務があり、その部分は記載できるように思います。</p> <p>また、広域でのリモート支援・ワークシェアリングが難しい場合は、その問題が何に由来するのか、国の機関の役割や制度についての改善点が明らかになっていると良いと考えます。（本論に記す必要は必ずしもないとは思いますが、ここをクリアすれば可能となる、というポイントがあれば良いと思います。）</p> <p>被災した自治体、日常業務に加えて、被災者支援と応急対応、復興事業という3つの業務が重なります。能登半島地震(2024)で明確になったのは、限られた職員数では対応することが極めて難しいこと、そのために対応に多大な時間が掛かり復興が遅れるということです。公費解体がいまだ終わらず、電気も水道も復旧していない地区があることは、単に被害の大きさが原因ではありません。</p> <p>個人保護法の壁はありますが、行政事務を広域でワークシェアリングできる方法の検討、リモートのワークシェアリングを阻むものの改善点をどこかに記載できれば良いと考えます。</p>	<p>リモート支援・ワークシェアリングについては、現プランに基づく支援の取り組みとして、能登半島地震において既に実施してきました。今後、取り組み事例について構成団体間での共有を図るとともに、各構成団体の地域防災計画の見直し等を踏まえ、現行記述内容の修正等について検討します。</p>
2	P52②	<p>赤字のまへの「必要に応じて」は不要ではないかと考えます。</p>	<p>被災した受援自治体による応援職員の活動環境の整備が十分でない判断される場合、広域連合や応援団体が支援を行うことを想定しているため、原案のとおりとさせていただきます。</p>
3	P78	<p>()の使い方が不明瞭。 変更理由から、 (修正案) ・避難所運営方針、ルール(早期の自主運営化等)の確立 ➡ 避難所運営方針、早期の自主運営化等のルールの確立でいかがでしょうか。</p>	<p>ご指摘いただいた箇所につきましては、構成団体からの修正案であり、本局として、「対応」欄のとおり修正させていただきます。</p>